

Satoru Ishiguro's Press

発行日●2023年10月吉日
発行人●山形県議会議員 石黒 覚
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥 234-2
Tel.Fax.●0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/
E-mail. satoru@isiguro.net
公式Facebook
https://www.facebook.com/satoru.ishiguro.5
公式Twitter
https://twitter.com/isiguro_satoru

石黒さとる
県政報告
希望への懸橋



コロナ乗り越え、
県民一丸
未来を拓く

Vol.25

令和5年7月15日(土)、
連合山形酒田飽海地域協議会主催の
「地域医療学習会」に参加。
講演「日本海ヘルスケアネットの現状と
地域医療の課題について」として、
日本海ヘルスケアネット栗谷義樹代表理事、
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
島貫隆夫理事長のお二人が講師という、
ありがたい学習会です。



令和4年12月23日(金)、
「国道344号安田バイパス早期実現の会」の
工藤会長、羽根田副会長、佐藤副会長、
信夫副会長とともに、吉村美栄子知事ならびに
小林県土整備部長に要望書を手渡して、
早期完成を要望させていただきました。
この道路の完成を見据えて、
JA全農山形が12月28日(水)
北庄内ライスステーション建設に着手しています。
地域活性化に寄与する道路の役割は、
本当に大きいです。



令和5年7月6日(木)、
一般県道余目松山線／
庄内橋架け替え工事協力会の
県議会議長ならびに
県土整備部への要望会に出席。
地元の自治会長会の皆様と
同行させていただきました。



県内新型コロナの相談窓口

新型コロナウイルスに関するご相談は、
新型コロナ総合コールセンターで受け付けています。

新型コロナ総合コールセンター
tel.0120-567-690

医療機関の受診相談
(24時間受付)

- 新型コロナにかかったかもしれないが、医療機関を受診すべきかどうか分からない。
●かかりつけの医療機関がなく、どの医療機関を受診すればよいか分からない。

自宅療養中の健康相談
(24時間受付)

- 新型コロナで自宅療養中だが、体調に不安がある。

コロナ後遺症に関する相談
(24時間受付)

- 新型コロナの療養を終えたが、体調不良が続いている。
●コロナ後遺症について医療機関を受診したいが、どこに行けばよいか分からない。

ワクチン接種に関する相談
(8時30分から18時00分)

- 現在どのようなワクチンを接種できるのか知りたい。
●ワクチン接種後の副反応が不安で、相談したい。

こころの健康に関する相談

県精神保健福祉センター
tel.023-631-7060
受付時間(平日) / 9時から12時、13時から17時

聴覚・言語障がいのある方の相談

県健康福祉企画課
fax.023-625-4294
受付時間(平日) / 8時30分から17時15分

所属委員会(令和5年度)

- 農林水産常任委員会(副委員長)
●議会運営委員会
●予算特別委員会(副委員長)
●新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

5月8日に5類に変更された新型コロナウイルス感染症は、重症化などの報道がされなくなっていますが、いまだに広範囲で感染が広がっている状況です。一人ひとりができる感染防止対策は、今しばらく必要なのではないかと思われます。
今年の夏は、過去に経験したことがない猛暑が続きました。また、全国各地、全世界にも台風などによる過去に経験したことがないような豪雨災害に見舞われました。一方で、私たちの住む庄内地域では、日照り続きで雨の降らない夏でした。今まさに地球温暖化の原因とする「地球の病」が極めて危険な状態にあることを、私たちは強く認識しなければならぬ最終局面だと考えざるを得ません。人間が自ら排出してきた二酸化炭素による地球温暖化を止めることができるのは、人間でしかないことは明らかです。しかし、今年の猛暑の中を、報道されることはありませんでした。ただし、格差拡大に苦しむ低所得層にとっては殺人的とも言っても過言ではありません。地球環境を守り、地球温暖化を止めるには化石燃料による発電から再生可能エネルギーに切り替えるためのアクセルを踏込んでスピードをあげなければなりません。
こうした状況の中で原発再稼働や新設を計画したり、既存原発の使用期間を40年から60年に引き延ばしたりすることを、議論すら軽んじて進める政府のやり方を許すわけにはいきません。私は、福島第一原発事故を経験した我が国が、そのことで苦しむ国民をいかにして原発に戻らせないかという点には、毅然として反対する立場を曲げない覚悟です。

この夏、母は94歳の人生を閉じました。親子であらうと他人であらうと、常に「相手」を気遣うことこそ自らを救う「生き方」を貫いた人でした。あらためて懐の深さに気付かされ、私のすべての言動を許してくれた母に「ありがとう」を伝えたい。ただ一目会いたくて、出張先の米沢から新幹線に乗り、山形から自家用車で駆けつけました。せめて息のあるうちに「お袋ありがとう」と伝えたい。

山形県議会議員 石黒覚